

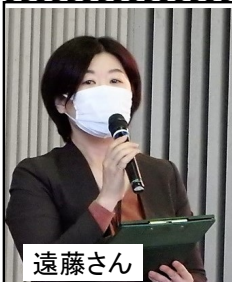


School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



遠藤さん

前号で紹介した「協働の学校づくり」推進協議会から、まとめをいただいた遠藤宏美さん(宮崎大学教育学部准教授)のお話です。

◆ 学校運営協議会では、「今の子どもは～ですね」のような一般論としてではなく、学校の現状の把握と共有を大切にしてほしいと思います。

◆ 子どもたちに大人の会話に加わってもらうことも考えましょう。「子ども扱い」せずに、地域の一員として、地域のことをどう考えているのか、意見を聴き、活動に参画させることも必要です。

◆ 大人が全力で楽しんで地域を愛している姿を、子どもたちに見せてあげたいと思います。

◆ 「変化を楽しむ」。これは AI にはできないことです。当たり前のことを疑い、変化を楽しむという視点で、これからのコミュニティスクールや地域学校協働活動に臨んでいただければと思います。

こすもす科の授業で、地域について学び、まちづくりのさまざまなアイデアを提案している子どもたちに出会うと、遠藤さんの言う「子ども扱いしない」という発言の意味がよく分かります。

KSSVC でも、「当たり前のことを疑い変化を楽しむ」ためにも、子どもたちの意見に耳を傾けたいと思います。

細野中 避難訓練【地震】



答は「避難場所」



校長室からリモートで

全校生徒と職員(約130名)がグラウンドに避難するまで2分13秒でした。講評は藤堂校長先生。校内のアンケート結果を示しながら、事前に、家族で避難場所を確認しておくことの大切さについてお話がありました。

この後、教室で DVD を視聴し、ワークシートで活動を振り返りました。

【感想】小林市も、災害がいつ起きてもおかしくありません。今日の訓練を機会に、備えをしっかりしておこうと思います。(全校生活委員長)

- 【DVD】 ◆ 阪神淡路大震災と東日本大震災の状況
- ◆ 南海トラフ地震による宮崎県内の被害予想(内閣府 H24) 《死者》4万2千人 《全壊・焼失》8万3千棟
 - ◆ 命を守る具体的な行動 ・ ショッピングセンターでは ・ エレベーター内では ・ 地下街では ・ 崖の近くでは

野尻小「棒踊り」

5・6年生



朝鮮出兵から帰還した島津氏の戦功を祝い、領内の各地で踊られた一つが棒踊りだと伝えられています。

この日は、入場する際の「では」という踊りの練習でした。保存会のお二人に、足の動きや掛け声、間隔のとり方などを丁寧に教えていただき、勇壮できれいな入場ができるようになりました。

熱心に取り組む様子に、地域の伝統を継承したいという子どもたちと保存会の皆さんの熱い思いを感じました。

小林小「兵児踊り」

4年生



お手本を見ながら



兵児(へこ)は成年男子のこと。島津氏が、薩摩武士の士気を鼓舞するため、各種の戦法を取り入れ、法螺貝や太鼓を鳴らして踊らせたのが起源と伝えられています。

4年生は、毎年、兵児踊りの歴史や踊りを学び、運動会で披露しています。この日、保存会の皆さんが見せてくださる構えや手足の動きをまねて繰り返し練習し、子どもたちもメリハリのある踊りができるようになりました。

裏に続きます。

小林小 小林のぶどうが給食に

写真は4年生



コロナ禍で消費が落ち込んでいる地元農産物の消費拡大と、地産地消による食育の推進が目的です。主催は市地産地消推進協議会。今年で3年目になります。この日は、地元産のぶどう「ニューピオーネ」が提供されました。その大粒の果肉と濃厚な甘さに子どもたちは大喜び。みんな笑顔で食べていました。

今回は、東方学校給食センター管轄の小・中学校で行われました。今後も、小林産のぶどうや梨、新米などの提供が計画されています。

永久津小 手話にふれよう

5年生



聞こえない人の生活を想像し、伝える方法や工夫について学習した後、ジェスチャーの伝言ゲームをしました。「野球」や「水泳」などの単語の他、文章を表現する場面もあり、子どもたちの演技力が光っていました。

後半は自己紹介。3年生で習った名前指文字を全員が覚えていたので、好きなことや相手への尋ね方などを加え、簡単な会話ができるまでになりました。

聞くと、3年生の発表会で手話を使ったとのこと。「覚えて使う」ことの大切さを改めて感じました。

細野中 小林の魅力再発見

2年生



【小林市の現状と課題】
宮田さん《地方創生課》
【湧水・ホテル・コスモス・星】
川野さん・西さん《商工観光課》
【エヒミアヤメ・伝統芸能】
井上さん《社会教育課》
【食・文化・人・小林市の情報発信術】
鶴田さん・外山さん《地方創生課》
テーマごとに10～30分間、お話をしてくださいました。

写真や資料を用いた説明はとても分かりやすく、2年生は真剣な表情で聞き、学んでいました。今回のお話も参考にして、小林市をPRするちらしを作り、修学旅行先で配布します。



修学旅行で小林のことを紹介するのが少し不安でした。でも、今日のお話を聞いて、やれそうな気がします。私たちの活動が、小林のためになればうれしいです。

細野小 そばの種まき

4年生



総合的な学習の時間に、そばのことを調べています。種まきの指導は細野営農組合の皆さん。子どもたちは3、4人の組になり、畑に均等にまいていきました。そばの種は三角形で、少しチクチクします。終了後、「種の形が想像とは違っていた」という感想も聞かれました。

そばの栽培は食育の一環としても行われ、4年生の活動前に、細野保育園の園児が種まきをしました。

この後は、花が咲く頃のスケッチ大会、収穫(11月)、そば打ち(12月)と、学習は進みます。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

中学2年生の職場体験学習の話です。ホームセンターで働いていた男子生徒はレジスターを上手に扱い、バーコード決済も難なくこなしていました。「職場体験、がんばってね!」と言うと、「ありがとうございます」と元気に答えてくれました。

焼肉店の厨房では、男子生徒がタレを容器に入れたり、いくつもの皿に野菜を盛り付けたり。そばで指導していた従業員の方が、「とても熱心に働いてくれます」とひと言。短時間で職場に溶け込んでいました。

昔、職場体験を終えた生徒に尋ねたことがあります。「暇だった」とか「出された昼ごはんがおいしかった」だけの感想にがっかりしたことを思い出しました。

永久津小 そばの種まき

6年生

- 【そばのお話】 ◆ 1週間ほどで発芽。生長が速い。
- ◆ そばの自給率は20~30%。多くは中国から輸入
- ◆ 日本の主な産地は ①北海道 ②長野 ③栃木



JAこばやし北支所の「そばプロジェクト」です



例年、種まき・収穫・そば打ちを永久津中の1年生、永久津保育園の年長組と合同で行っています。今年は行事が重なり、小学校と保育園で種まきをしました。

広い畑でしたが、9名の児童と6名の園児、JAと地域の皆さんが協力して30分ほどでまき終わりました。

この後、トラクターで浅く(5cmほど)掘り返して土をかけ、タイヤローラーで鎮圧。こうすることで、殻が割れ、発芽率が高くなるそうです。



3週間後。5~10cmに育っていました。

農業体験学習

永久津中 1年生



里山・北樹園 (北園さん)

職場体験中の秀峰高校の2年生が見学

東の里山(上畠さん)



4名ずつに分かれ、えびの市の2軒の農家で泊なしの2日間を過ごしました。「この時期に栗の収穫ができるお宅を選びました」と、田舎物語事務局の千田さん。

【里山・北樹園】虫や蜂よけの対策をして50本ほどある栗林へ。多い年は450キロの収穫があるそうです。栗の袋詰や野菜の収穫、昼食とお菓子作りを体験しました。

【東の里山】栗拾いと野菜の種まきを終え休憩中でした。お母さんお手製の渋皮煮と、採ったばかりの栗をゆで栗にして食べながら、秀峰高校生と事務局のお二人と一緒に、農業の苦労や喜びについてのお話をたくさん聞きました。

入村式での生徒代表のあいさつ、「農業について学び、農家の方とたくさん話をし、楽しく活動しましょう」が実践できた2日間でした。

小林中 1年生

スポーツ振興課と北きりしま田舎物語推進協議会による事業



小林・えびの・高原の24軒に受け入れていただき、日帰りで行いました。入村式の挨拶より紹介します。

【谷口校長】日頃学べないことに積極的に取り組み、五感を働かせて体験してください。

【松元課長】食べ物を大切にする心を育て、小林・西諸の良さを再発見してください。

【福本会長】出会った時から家族です。西諸の素晴らしい所を5つ見つけてください。

【生徒代表】農業の魅力を発見したいと思います。いろいろ教えてください。



ハーブ水づくり:たかはるヒト×コト交流センター (幸田さん)



ねりくり(いも餅)づくり:くまのかくれ家 (福本さん)



ミニトマトの収穫:つばきの里 (齋藤さん)



和カボチャ(在来種)の収穫畑の宿づのかんぼ (大角さん)

裏に続きます。

須木小 スーパーマーケットの見学

3年生



たくさん質問をしました



お金は自分で機械に入れます

5名の3年生が「まちなか松栄」へ。店長さんにあいさつをした後、店内を見て回りました。めあては「スーパーマーケットの工夫を5つ探すこと」。子どもたちは、コーナーごとに商品が整然と並べられている様子や、果物などに書かれた生産地に興味を示し、店員さんにいろいろな質問をしていました。この後、小林駅にも行きました。

教室では、見つけたことを発表し合って、さらに学習を深めます。



須木中 職場体験学習

2年生



① 須木小



② 認定こども園日章

③ やません

2年生3名が3か所で体験学習をしました。「1人での活動は緊張する反面、学ぶことも多いだろうな」と思いながら、それぞれの熱心な仕事ぶりを見ていました。

- ① 6年生がテストを受けている間、宅習ノートを点検。まるつけもしました。
- ② 年小組(3歳児)と遊んだり、お世話をしたり。周りには、いつもたくさんの園児が。
- ③ たれの準備や野菜の盛付など。社長さんを始め、スタッフの皆さんからいろいろなことを教えてもらいました。

例 I went to (行) た
例 I went to summer (見たもの)
例 I saw (見たもの)
例 I saw the Milky (食べたもの)
例 I ate (食べたもの)
例 I ate watermelon (食べたもの)
例 I was (どう) た。
例 It was exciting (楽し) ました。
例 I enjoyed (楽し) ました。
例 I enjoyed camp (楽し) ました。
宅習ノート

三松中 ネットトラブル予防授業

1年生

【目標】 ◆ ネットには危険が隠れていることを知ろう
◆ ネットを使う中で、人を傷つけたり迷惑をかけたりすることがあることを理解しよう ◆ ネットを正しく使おう



リアルでやっていけないことは、ネット上でもやってはいけません！

講師の牟田圭佑さんはネットトラブルに詳しい弁護士。「中学生も他人事じゃない インターネット・トラブル予防」と題して、「いじめ」や「誹謗中傷」、「炎上」などの事例を紹介しながらお話をしてくださいました。

ほとんどの生徒が日常的にネットに接し、身近な問題として捉えているからでしょう、終始、真剣な表情で聞いていました。



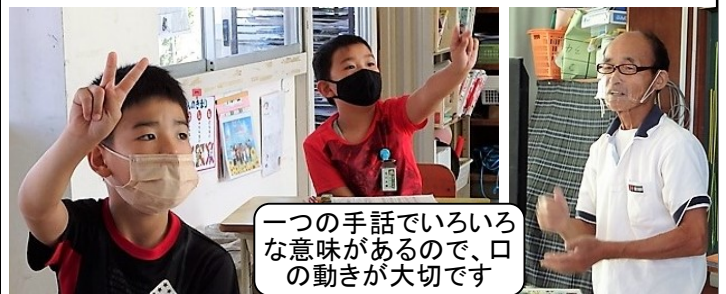
途中で、弁護士バッジを見せてもらいました。なくすといけないので、普段は着けていないそうです。

今日習ったことは、学校生活と日常生活で生かしていきたいと思います。



紙屋小 手話の学習

3年生



一つの手話でいろいろな意味があるので、口の動きが大切です



パフパフ 花が咲いたら 晴れた空に種をまこう

【内容】 ◆ 聞こえない人の生活と伝える工夫 ◆ ジェスチャーと簡単な手話(あいさつ・スポーツ・曜日・数字など)
◆ 指文字・自己紹介・手話歌 《指導: 野尻手話サークル》

「ジェスチャーと同じだ!」。いくつかの手話を習った後で、子どもたちは気づきます。手話の多くは物の形や動作から生まれたので、ある程度はジェスチャーで伝えることができます。「手話を知らなくても大丈夫。大切なのは伝えようとする気持ちです」と講師のお二人。

学習をきっかけに、普段の生活の中で、優しさや思いやりの心を育ててほしいというのが、市内で手話を指導されている皆さん共通の願いです。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

三松中3年生の小林市未来予想図発表会でのこと。「コミュニティ・スクールについて聞かれてびっくりしました」と、講師の一人(市役所職員)から聞きました。「まなび」の分野で、「コミュニティ・スクールの機能の充実」について質問があったそうです。「何とか答えたけど、あれで良かったかな～」とひと言。

地域の行事に参加するだけでなく、企画や準備、運営に子どもたちが携わる事例が市内でも見られます。地域の活性化のために子どもたちが活躍する場面を保証することが大人の役割であり、それがコミュニティ・スクールの充実にもつながると思います。

「子どもを子ども扱わない」という宮崎大学准教授、遠藤さんの言葉を思い出しました。

手話の学習

須木中 3年生



徳永さん



◆ 聞こえない人の生活と伝え合う方法 ◆ 指文字・自己紹介 ◆ 手話歌「世界に一つだけの花」



徳永さんは「西諸聴覚障害者協会」の会長。自身の日常を紹介しながら、聞こえない人とのコミュニケーションについてお話をしてくださいました。補聴器の体験もあり、相手の声が急に大きくなり、生徒たちは驚いていました。

須木小 3～6年生



野球

adidas 3・4年生



5・6年生

◆ 聞こえない人の生活と伝え合う方法 ◆ ジェスチャーゲーム ◆ 指文字 自己紹介



講師は手話通訳者派遣協会の3名の皆さん。2学年合同で、1時間ずつ手話の基本を学びました。

「伝え合う方法」では、さまざまな手段を考えた後、ジェスチャーゲームで大いに盛り上がりました。

東方小 5年生



聞こえない人の生活や伝える方法について考え、あいさつなど、基本的な手話を習った後は自己紹介に挑戦。手話と指文字を使い、代表の生徒が上手に趣味や誕生日を発表しました。講師は「木の実会」のお二人です。

◆ 手話の大切さ。気持ちの表現 ◆ 障がい者を支える手段(点字・車用のステッカー) ◆ 指文字・自己紹介

南小 スーパーマーケットの見学

3年生



たくさんの人においしいと言ってもらえるように作っています



まぐろが一番売れます

お客さんに喜んでもらえることです

お仕事でうれしいことは何ですか？

3年生2クラスがまちなか松栄へ。商品の名前や値段、産地を調べ、店長さんを始め、店員さんに質問。刺身を1日200パック作ること、県外や外国産の商品がたくさんあること、働いている人の思いなどが分かりました。

店内を回らる中で、お客さんに質問するグループもあり、「どうして松栄に来たのですか?」「いろいろな商品があるからです」という会話も聞こえてきました。

裏に続きます。

三松中 避難訓練【不審者対応】



(校内放送) エチケット集会を行います



小林警察署生活安全課のお二人



栗須さん



校内放送後、状況が把握できるまで教室で待機。避難経路の安全を確認後、再度の放送。体育館へ避難

このような流れで生徒の動きを再確認。不審者の位置によって放送の内容と避難経路が変わります。終了後の講師と校長先生の懇談では、先生方の具体的な対応の仕方など、今後の訓練のことも話題になりました。

【栗須さん(生活安全課)のお話より】 ◆ 整然と避難ができて、とても良かったです。 ◆ 学校に不審者が来た時は、その場から逃げる、机や椅子で間合いを取ることが大切です。自分の命は自分で守る意識をもってください。

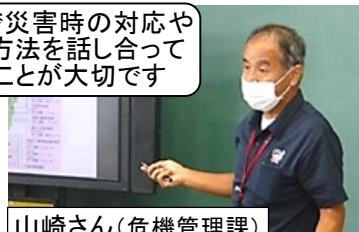
◆ 学校の外で会った時は大人に知らせ、時間をおかずに警察へ通報してください。人目につかない場所は危険です。 ◆ 声をかけられた場合の対応を、普段から考えておきましょう。 ◆ 子どもの頃、不審者に会い、その対応をしてくれた女性警察官にあこがれて警察官になりました。

須木中 危機管理課による講話



- ◆ 釜石の奇跡
- ◆ 過去の災害
- ◆ 地震
- ◆ 線状降水帯
- ◆ 避難情報
- ◆ 小林市の備蓄について
- ◆ 自分でできる防災対策

家族で災害時の対応や連絡方法を話し合っておくことが大切です



山崎さん(危機管理課)



前半は、過去と、今後予想される災害についてのお話。もしもの時には、正しい知識と判断力が必要なことを学びました。後半は、避難所で役立つ段ボールベッドと屋内 TENT を組み立てる実践的な内容。缶詰の非常用パンも試食しました。

【質問の答より】 ◆ 地震で机の下に隠れた後は揺れが収まったことを確認して、安全な避難場所へ。

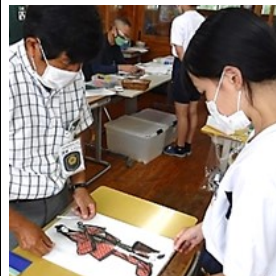
- ◆ 段ボールベッドは 300kg ぐらいまで耐えられます。
- ◆ 家庭での備蓄は、家族の人数×3日分を目安に。

永久津中 ものづくり体験

いい作品ができました!



染色



切り絵



ものづくりのおもしろさや大切さを伝え、人材育成につながる体験教室です。全校生徒が「染色」と「切り絵」に分かれ、ものづくりの世界を楽しみました。

講師は、染色と広告美術の技能士さんたち。細やかで根気のいる作業でしたが、丁寧に教えてもらいながら、個性あふれる作品を作り上げました。



南小 図書館見学

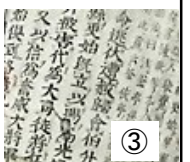
2年生



明治41年にできた、県内で2番目に古い図書館です。1番は県立図書館



図書館で一番古い本、300歳です(後漢書)



2クラスが「見学」と「説明」を交互に。見学は2班に分かれ、他の利用者さんの迷惑にならないように静かに見て回りました。借りられるのは3~10冊、ただし持って帰れるだけ。子どもたちは楽しそうに本を選んでいました。

質問の時間には、①人気の本や②大きな本、③古い本など、学校が事前に伝えていた内容に沿った本を紹介しながら、丁寧に答えてくださいました。

終わりの会では、積極的に感想を発表。「知らないことが分かってうれしかった」とか「教え方が上手でした」という声が寄せられました。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



聞こえない人の生活と伝え合う方法を通して、自分たちができることを考えました。自己紹介では、手話と指文字で名前と好きなものを発表。どちらの学年も、子どもたちは、楽しく、そして積極的に学習に取り組みながら、手話に対する関心を高めることができました。

教えていただいた「木の实会」の皆さんより

【3年生】聞こえない人が生活しやすい工夫が、たくさんなされていますが、まだまだ困っていることもあります。

【5年生】皆さんの普段のやさしさが、いざという時に役に立ちます。

東方小・須木小 どこでも博物館

東方小



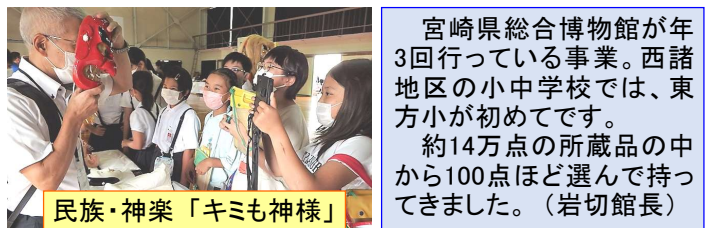
「色が地味なキノコは 大丈夫」はウソです

「びっくりめがね」で、博物館の映像を見えています。



マッコウクジラの胸ビレ

2頭の恐竜の口と歯の形をくらべてみよう



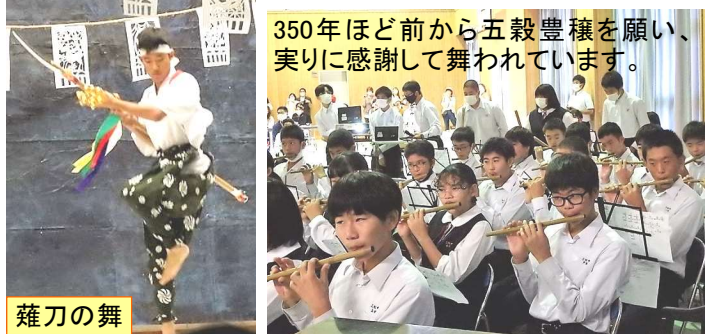
民族・神楽「キミも神様」

宮崎県総合博物館が年3回行っている事業。西諸地区の小中学校では、東方小が初めてです。約14万点の所蔵品の中から100点ほど選んで持ってきました。(岩切館長)

2学年ずつ3回に分けて実施。両校の児童は、分野別に分かれた5つのブースを、学芸員の説明を聞きながら見て回りました。展示品に接した子どもたちの表情は生き生きとしていて、驚いたり歓声をあげたり…。熱心にメモを取っている姿も見られました。

三松中 岩戸神楽【文化発表会】

2年生



薙刀の舞

350年ほど前から五穀豊穡を願い、実りに感謝して舞われています。

県民総ぐるみ教育推進研修会 (宮崎県教育庁・南部教育事務所主催:えびの市飯野地区コミュニティセンター) 10.15

「地域と学校の連携・協働の推進」のさらなる具現化を図るための研修会。地域・学校・行政・企業などから100名近くが参加しました。簡単に紹介します。

◆ 説明「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について(県教育委員会)

◆ 実践発表

①「高原に積極的に関わり、高原に貢献する学校づくりをめざして」(高原中学校 校長 中山新吾さん)

②「参加したくなる・参加しやすい・地域活動づくり」(細野まちづくり協議会 会長 内村文彦さん)

◆ 講話「語り合いから始まる連携・協働」(南部教育事務所 連携推進アドバイザー 北村俊二さん)

◆ ワークショップ「子どもたちの豊かな成長のために、私にできること・やってみたいこと」

2つの実践発表に共通していたのは、地域と学校が、それぞれの視点をもちながら、両者を活性化するために共通理解を図り、児童・生徒の参画を推進していることでした。



私が入ったグループでは、「できることや、やってみたいこと」を話し合う中で、「歩く」がキーワードに。「地域の魅力を子どもたちに伝えるためには、大人が地域を知ることが大切。そのために、地域を歩いてみましょう」ということでまとまりました。まだまだ知らないことが多い小林市の魅力をもっと知りたいと思った研修会でした。

細野小 手話の学習

3年生と5年生を別の日に取材しました。



3年生

とんとんゆこう～

ジェスチャーゲーム

手話歌「さんぽ」



5年生

指文字

自己紹介



2年生が毎年取り組んでいる岩戸神楽の伝承活動です。保存会の皆さんと、宮崎市の篠笛演奏家木浦さん、郡(におり)さんのご指導で練習を重ね、発表しました。

舞い手・伴奏・プレゼン

テーション・小道具・背景などを、学年全員で分担して取り組むのが三松中の伝統になっています。

野尻中 福祉体験学習

2年生



奥様がサポート

肢体型筋ジストロフィーのため、車イスの生活をされている赤木一夫さんを講師にお迎えしました。

前半は、これまでの人生や障がいへの思いを語っていただき、後半は、赤木さんと奥様の説明で、誰もができるスポーツ「ポッチャ」を一緒に楽しみました。

【お話より】 ◆ 身体に異変を感じたのは中学生になった頃。中学卒業後、奈良の会社に就職しましたが、病気が進行して3年で退社して小林に帰りました。 ◆ 18歳で検査をして進行性の肢体型筋ジストロフィーと判明 ◆ その後は、不自由な身体でできる仕事を頑張り、23歳で結婚 ◆ 40歳の頃には、立ち上がることもできなくなり、家を完全バリアフリーに改築 ◆ 介護認定審査会委員を務めた経験もあり、卓球バレーとポッチャにも挑戦し、様々な大会に出場 ◆ 身体は不自由ですが、私の心は自由。決して不幸ではありません。 ◆ 「人生は挑戦。挑戦しないと人格はできない。自分を鍛えるのは自分。自分を大きくするのは自分の努力」という言葉を人生の支えにしています。 ◆ これからいろいろなことがあっても、希望をもちながら勉強やスポーツに挑戦し続けてほしいと思います。



1週間後は、アイマスクや車いすの体験と、装具を使った高齢者疑似体験を実施。社会福祉協議会と民生委員の皆さんの協力で、障がい者や高齢者の気持ち、介助の仕方、コミュニケーションのとり方を学びました。

実りの秋

いろいろな収穫作業を、季節を感じながら取材しました。

台風で、栗も大きな被害を受けました

須木小 3年生



【すき特産を見学】 栗の集荷場・農産物加工場・特産品の売店を見学。加工場では大きな鍋にびっくり、売店ではいろいろな商品の説明を聞き、栗やユズを使った商品のアイデアを考えました。たとえば…

プリン・ふりかけ・せんべい・焼き肉のたれ など

永久津中



【さつまいもの収穫】 2年生が5月に植え付けた紅はるかや紅あずまを全校生徒で収穫。トラクターで掘り起こした後、集めて根を切り、一輪車やリヤカーで運びました。

たくさんの芋は家庭や地域へのおみやげに。調理実習で「がね」や「ねったぼ」も作ります。

協力は学校コーディネータのお二人



野尻小 3年生



【稲刈り】 コンバインでの刈取り作業を見学した後、鎌を使っての手刈りに挑戦。初めはぎこちなかったものの、次第にスムーズにできるようになりました。収穫したもち米は、12月の餅つき大会でお餅になります。

野尻幼稚園児も一緒に稲を刈り、野尻保育園児が見学と応援に訪れました。

協力は東麓地区営農組合とJA こばやし



栗須小 2年生



【いもほり】 さわやかな秋晴れの下、たくさんの大人に手伝ってもらい、栗須保育園児と力を合わせて、元気がいもほりをしました。収穫は564kg。参加者がそれぞれ持ち帰り、おいしくいただいたそうです。

協力は営農組合、野尻原環境保全会、包括支援センターなど





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

小林市の地域学校協働活動の課題の一つがボランティアの固定化と高齢化です。その解決のために、学校では、いろいろな工夫をして活動に取り組んでいます。そのような中、本を読まなくてもいい「読み聞かせの時間」の話の聞き、東方中を訪問しました。

東方中「中学生に伝えたいこと」



ボランティアを確保するのが難しく、「本は読まなくてもいいです。かわりに、仕事のことや体験談、学校・地域の思い出などを…」と、保護者や地域の方をお願いしたところ、引き受けてくださる方が増えたそうです。

この日の語り手は生徒のお父さん。「尊敬できる2人の同級生」と題し、小林西高校調理科の同級生についてのお話でした。1人は東京でレストランの料理長、もう1人はEXILEのメンバーだそうです。高校時代のエピソードや、夢を叶えるために2人が努力してきたことに続けて、次のようなメッセージを生徒に送っていただきました。

◆ 2人は大好きなことを通し、夢の実現のために努力してきました。そして、支えてくれた人へ感謝の気持ちを伝えたいと思っています。一人は料理で、一人はダンスで、多くの人を笑顔にしたいと願っています。

◆ 皆さんが、夢や目標を必ずしももつ必要はありません。でも、全員が「平等」な時間をもっています。その時間を、是非有効に使ってください。

細野小 史跡めぐり

東方大丸太鼓橋



薩摩の豪商、森山新蔵が私財を投じて完成させた県内最古の水路橋。県の有形文化財

4年生



二原遺跡公園

説明:ガイドボランティア協会



副葬品の刀や剣、装飾品などから、古墳時代の5世紀末～6世紀前半頃に造られたと推定されています。県指定史跡

熱帯産のイモガイの腕輪も見つけました



大丸太鼓橋では、アーチ式石橋の造り方を古い写真で説明してもらい、石切り場も見学。二原遺跡では、昔の生活を想像しながら古代の品々を見たり内部をのぞき込んだり…。東方の「仲間の田の神」も見学しました。

三松中 小林市未来予想図

3年生



ウォールアートで人を呼び込めます

2クラスが4つの分野に分かれ、市の施策について意見や要望を発表。市役所の関連する11課の皆さんから、回答と今後の学習への助言をもらいました。

ゴミの問題、高齢者の買い物支援、伝統文化の継承、小林の知名度の向上など、市の活性化のためのアイデアがたくさん生まれ、同時に、プレゼンテーションの技術を磨く格好の機会になりました。

野尻小 警察署見学

3年生



警棒と盾です

パンフレットを使い、警察の仕事と各課の紹介、110番のしくみのお話。その後、警務課、地域課、交通課、警備課の皆さんが質問に答えてくれました。パトカーや白バイにも乗せてもらい、子どもたちは大喜びでした。

【質問の答より】 ◆ 人を守る仕事がしたくて警察官になりました。 ◆ 小林署に75人(女性7人)の警察官がいます。 ◆ 警察犬は必要な時に訓練士が連れてきます。 ◆ 拳銃の訓練もします。 ◆ 私たちが大切にしているのは、素早さ・予防・相手の気持ち・体力です。

須木小 消防署見学

3年生



消防車と救急車の役割と装備、119番を最初に受ける中央指令室の働きについて学習しました。救助工作車に積まれた珍しい工具の説明や、防火服や酸素ボンベとマスクの着用体験もあり、子どもたちは、目を輝かせながら見て回り、質問もたくさんしていました。

途中、救急車が出動する場面もあり、緊張！「消防士になるには？」という質問の答は、「勉強と運動をがんばること」でした。



裏に続きます。

紙屋小「先端技術に学ぶ」

5年生



トヨタカローラ宮崎と宮崎トヨタによる出前授業。「豊かさと環境の両立について、クルマを通して考えてほしいと思います」というお話の後、クイズや映像、体験活動で、環境問題への取組や先端技術を使った自動車など、企業の工夫や努力について学びました。

スマホを操作し、乗らずに車庫入れができる実演には、子どもたちも先生方もびっくりしていました。

- ① 塗装体験。環境に負担をかけない水性塗料です。
- ② 車椅子仕様車。安全ベルトが付いていました。
- ③ シーウオーク。公道は走れませんが、広い施設で活躍しそうです。 ※ お揃いの「つなぎ」は会社が用意

南小 味覚の授業

講師：高岩さん(地鶏の里)
地井さん(こやっど小林)



5年生

甘味や塩味など、五味の味見と、だしと塩・酢・砂糖の「味のたし算」を通して、食の楽しさを学びました。

【感想より】 ◆ 今まで普通に食べていたので、味わって食べたいと思います。 ◆ 渋みや辛みが「刺激」だと聞いてびっくりしました。 ◆ 味をまぜるとおいしく感じました。 ◆ お酢と塩をまぜると、お寿司のご飯のようになりました。

【高岩さん】 お家のごはんや給食で、時々は、五味を感じ、何が使われているかを考えながら味わってみてください。宮崎と家庭の味を楽しんで下さい。

東方小 ふれあい交流

1年生



太鼓をたたいた数の人数が集まります。ただし2つの学校が混じること



こすもす支援学校1年生との交流会。業間の20分間で実施しました。音楽が鳴っている間、子どもたちは自由に歩き、太鼓の合図で集まります。メンバーがそろったら自己紹介。名前と好きなものを伝え、回を重ねるごとに、3人、5人、7人…と、仲間が増えていきました。

両校は、学年ごとの交流会を定期的に行っています。

実りの秋

西小林小



【稲刈り:5・6年生】

5年生に6年生が協力して、毎年行っています。鎌で刈り取った後、数株をまとめてしばり、棚に掛けました。

【脱穀:4・5年生】

晴天が続いた1週間後、3台の足踏式脱穀機を使って脱穀。機械での作業も並行して行われ、子どもたちは昔の苦労とともに、技術の進歩についても学んでいました。

「ご飯を食べる時に、今回の体験を、少しでも思い出してほしいですね」と、楠田校長先生。



紙屋小・中



【稲刈り】 5年生と中学生、地域の方との共同作業。コンバインでの刈取りと脱穀も同時に行いました。

【誓いの言葉(小学生)】 水の管理や草取りなど、協力いただいた方に感謝しながら丁寧に刈り取ります。

【お礼の言葉(中学生)】 協力していただいたことに感謝し、駅伝大会や餅つき、受験をがんばります。

【吉田校長先生】 ~開始式での三択クイズより~
◇ お茶碗1杯分の米粒の数はどのくらい？(約3,000粒)
◇ 稲穂1つに実る籾は何粒でしょうか？(80~100粒)

【佐田校長先生】 働いた経験を他の面に生かしてください。すばらしい活動をしてくれた皆さんに感謝します。

野尻小 1・2年生



【いもほり】 学校近くの「なかよし畑」。5月に植えたさつまいもの収穫です。野尻幼稚園、野尻保育園の園児とともに、土の感触を味わいながら収穫の秋を楽しみました。

掘った芋は、家庭へのおみやげにしました。

上記の3つの活動では、営農組合・JA こばやし、保護者の皆さんに協力していただきました。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



校外学習に同行して施設や文化財を見学する際、初めて見聞きすることがたくさんあります。最近では、須木の水路開発事業を手掛けた児玉源七郎氏のこと。須木総合ふるさとセンターの近くに記念碑があります。

須木小の4年生と、野尻庁舎で野尻原用水路の説明を聞き、東方大丸太鼓橋を見学した後で訪れました。水路の一部だけが残り、記念碑がひっそりと建っています。「須木の子どもたちにいちばん見てほしかった場所です」とガイドボランティアのお二人。故郷の偉人が残した業績について、子どもたちは熱心に学んでいました。それぞれの学校でも、探してみると、いろいろな人や物にまつわる「宝物」が見つかることでしょう。

須木小 校外学習

4年生



東方大丸太鼓橋(県の有形文化財)



学校に戻り、アーチ式石橋の造り方を模型で学習。枠に沿って両端からブロックを積み、最後に要(かなめ)石を頂点に。枠を外して完成です。要石を取ると… あっという間に崩れました。

須木中 中高連携講座【着付け】

2・3年生



講師：阿辺山先生と2人の生徒さん(日章学園高校へアーデザイン科)



家庭科(和服)の学習です。和服の種類や構造を学んだ後、実際に浴衣を着てみました。苦勞しましたが、手伝ってもらい、全員がきれいに着ることができました。体験したことで、和服文化への関心が、より高まったことでしょう。浴衣姿の記念撮影の後、たたみ方も習いました。

【お礼の言葉】お祭りに行く時に、今回の経験を生かしたいと思います。

細野中 みやざきシェイクアウト



まず低く(DROP) 頭を守り(COVER) 動かない(HOLD ON)

11月5日の「津波防災の日」と「世界津波の日」を中心とした期間に行われる県民一斉防災行動訓練。今年で8回目です。地震発生時の安全確保を目的に、参加した学校も多かったことでしょう。

細野中では… ① 大規模地震を想定した訓練用音源を放送 ② 全校生徒が身を守る行動 ③ その場で安否確認 ④ 行動の振り返り という流れで行われました。

三松中 台湾の中学生との交流会

3年生



三星中学校1年生とオンラインで交流。学校紹介と質疑応答を英語で行いました。中国語の通訳は、西都市の台湾交流コーディネータ、黒木さん。

こんな会話が… (三星) How do you go to school? (三松) I walk to school. (三星) Do you clean your classrooms by yourselves? (三松) Yes, we do in the morning.

校長先生が英語でお礼を述べて終了。これからの様々な交流活動につながるきっかけになりました。

野尻小 手話の学習

5年生



講師は野尻手話サークルの皆さん4名。前半は、あいさつと数字や曜日、動作を表わすたくさんの手話に触れ、後半では、手話での会話に挑戦。誕生日や好きなスポーツを互いに紹介しました。最後に、「365日の紙飛行機」を手話で元気に合唱しました。「声を出すと、口の動きで伝わりやすくなります」など、聞こえない人に伝える際に大切なことも学びました。

野尻中 避難訓練【火災】

協力は野尻分遣所



濃煙体験

運動場に避難した後は、分遣所の皆さんの指導で、消火器の操作と濃煙体験を行いました。

※ 消火器の合言葉は「ホッピング」

- ① ホースを火元へ向け
- ② ピンを抜き
- ③ ゲットレバーを握る



※ 濃煙体験では、立ち上がって煙をかき混ぜないように。低い姿勢を保って出口を目指します。

生徒たちは真剣に訓練に取り組み、火災から命を守る具体的な行動を学んでいました。

小林小 霧島おむすび自然学校のお話



おむすび(お結び)は高千穂の峰。誰もがつながり合おうという思いを込めています

4年生

福祉についての学習

【講師】 壹岐博彦さん: 元特別支援学校の先生。市の社会教育委員 【演題】 障がい者とともに楽しむ野外活動

霧島おむすび自然学校は「障がいの有無に関わらず、誰もが野外活動や自然体験を楽しみながら成長してほしい」という思いで設立された団体です。シンボルマークの紹介の後、活動内容と、体験することで分かったこと、大切なことについてお話をしてくださいました。

【壹岐さんより】 障がい者や困っている人のことが気になる人は、ぜひ何かの活動に参加してほしいと思います。

【お礼の言葉】 ◆ 活動の様子がよくわかりました。私もイッキーさんみたいに登山の楽しさを伝えたいです。 ◆ 障がいのある方たちと関わろうとすることがすごいと思いました。



実りの秋

紙屋小 1・2年生



【いもほり】 始めと終わりの会の進行を2年生がするのが恒例になっています。たくさんの大人に手伝ってもらい、楽しく収穫。コンテナで6箱ほどのさつまいもが採れました。

全校児童で分けて家庭へ持ち帰り、地域へもおすそ分けしたそうです。(協力は JA こばやし青年部・PTA)

西小林中 2年生



【里芋の「子ばなし」】 種芋(親芋)から育った子芋と孫芋を切り離す作業です。子芋と孫芋は手で折るように切り離し、子芋にできた小さな「豆」(将来孫芋になる部分)は、ハサミで丁寧に切り取ります。3つの作業台で、木村農園の木村さんと従業員の方に教えてもらいながら、黙々と作業をしました。毎年行っている農業体験学習です。



永久津小・中



雨よけのビニールを被ったかかし

【稲刈り】 5年生と中学生の共同作業。地区体育館から歩いて15分。かくれ念仏洞の近くに田んぼがあります。5年生が作ったかかし3体が見守る中、小・中4~5人のグループで刈取り、掛け干しまでしました。

【営農組合の方】 鎌だけで刈るのは久しぶりでした。籾の水分が15%以下になったら脱穀します。

【生徒代表】 腰が痛くなったりして、昔の人の苦勞が分かりました。小学生とも協力できて良かったです

栗須小



【稲刈り】 全校児童による稲刈りです。PTA事業部・営農組合・JAこばやし・環境保全会・みかんやスマイル会議など、さまざまな組織や団体から、多くの皆さんが来てくださいました。広い学校田で、1・6年、2・5年、3・4年に分かれて丁寧に刈取り、脱穀まで行いました。収穫したもち米は、例年、保護者や地域住民に販売しており、すぐに売り切れる人気商品になっています。

今年もたくさんの活動を取材させていただき、ありがとうございました。厳しい状況が続いていますが、1日も早いコロナの終息を願って…



よいお年をお迎えください

